

## 授業改善書

科目名	家庭
担当者	佐藤真弓

### 授業の概要

小学校5年生から学ぶ「家庭科」について、教科の特性や現代の子どもたちの生活実態に触れながら、家庭科を学ぶ意義などについて検討していく。小学校家庭科の教科内容、指導方法等の基本的な事項について、講義、演習、実習を通じて、指導者に必要な知識理解とともに実践的な技能・態度を培う。

### 授業の問題点

講義、実習、演習を行う上で、4年次履修生の教育実習などとの兼ね合いもあり、授業実施計画をたてる場合配慮が必要であったが、履修生の人数があまり多くなく、その辺は臨機応変に行うことができた。学生は概ね授業に対して積極的に取り組んでくれたため、特に大きな問題点を感じなかった。

### 授業改善の課題・方策

授業評価を見ても、授業全体としては、概ね学生も満足をしてくれたのではないと思う。本授業は、家庭科の目的、対象、方法、など基本的な事項を学び、後期の教科教育法での演習に向けての基礎固めの性格をもつ。小学校家庭科の授業をスムーズに実施できるかということの最初の段階として、履修生は意欲的に目的意識を持ちながら授業に取り組んでくれたと思う。

ただ、授業外学習の評価が低いようであるので、これに関してはもう少し改善が必要になるだろう。授業内で終わられなかった教科書分析をプリント課題として課したのだが、学生たちにとってみればそれは予習復習としての認識がないのかもしれない。テキスト等の資料が適切であったかどうかの評価点数もやや低めであったようなので、テキスト、プリント課題などの内容の改善を図るつもりである。

また、家庭科はその性格上、各自の普段の家庭生活の中に問題点や家庭科授業で取り上げられるべきテーマが多い。一人一人が自身の生活を向上するために何ができるか、そしてそれを小学校家庭科のテーマとして挙げられるものはないかとの問題意識をもてるように指導していきたい。

### その他